



市議会だより



2008年を迎えて（市議会議場にて）

市民の皆様には、平素より市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本年も、松阪市の発展と市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指して、議員一同一層の努力をしましてまいる所存でございます。

今後とも市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご多幸を心からお祈りいたします。

松阪市議会

迎春

平成19年11月臨時会 (11月6日～16日)を開催

平成18年度一般会計・特別会計
歳入歳出決算を認定

主な掲載内容

- 2～3 ページ…平成18年度一般会計・特別会計決算審査
- 4 ページ……平成18年度一般会計・特別会計決算状況
- 5 ページ……海外視察団に参加して
2月定例会開催日程(予定)
- 6 ページ……訪中使節団に参加して

一般会計 特別会計 決算審査

平成18年度松阪市歳入歳出決算については、9名の委員で構成する「決算調査特別委員会」を設置し審査を行いました。委員会では、予算が適正かつ効果的に執行されたかを中心に慎重な審査が行われ、昨年11月16日の本会議に委員長から審査意見が報告され、賛成多数で認定されました。委員会の審査意見は次のとおりです。

決算調査特別委員会委員

委員長 中森 弘幸
 副委員長 濱口 高志
 委員 山本 芳敬
 委員 田中 祐治
 委員 大平 勇

一般会計歳入

(1) 市税について

市税の徴収に当たっては、市税徴収アドバイザー等による職員のレベルアップに取り組まれたことや、電話催告システムの増設などにより努力されている。

今後とも収納率の向上と収入未済額の縮減に努められるとともに、安定的な収入確保のための新たな財源確保について検討されたい。

(2) 保育料について

格差社会が広がる中、生活困窮等による保育料の滞納が見受けられることから、入園児の保護者に対し、保育料の減免制度の周知について努力されたい。

(3) 財政運営について

経常収支比率等から見ると、財政の硬直化が進んでいる。さらに財政を取

委員 笠井 和生
 委員 今井 一久
 委員 田中 力
 委員 前川 幸敏

一般会計歳出

り巻く情勢には引き続き厳しい状況があることから、今後とも自主財源の確保に努めるとともに、行財政改革の推進と経費の節減を図り、健全な財政運営に努められたい。

(1) 市長交際費について

市長交際費については、公平・公正な観点から適正な支出に努められたい。

(2) 交通災害共済事業について

交通災害共済への加入については、各種メディア等を通じ新規加入の募集など加入促進のためのPRが行われているにもかかわらず、加入率が前年度比0.8ポイントの減となっている。この事業は、交通弱者のための有効な共済事業であり、より一層の加入促進に努められたい。

(3) 交通安全対策について

交通死亡事故ワースト上位脱却のため、あらゆる手段、方法を講じ努力されているが、いまだ憂慮すべき事態である。このことを市の重要課題としてとらえ、引き続き交通事故防止に努められたい。

(4) 自主防災組織について

近い将来、東海・東南海・南海地震の発生が予想されることから、各地域で組織されている自主防災隊のリーダーの育成と災害時に対応できるマニュアルの作成など組織の充実強化に努められたい。

(5) 時間外勤務について

時間外勤務が職場によっては多い部署がある。このことは職員の健康管理、また日常業務にも影響を及ぼすことにもなりかねないことから業務内容の見直しに努力されたい。

(6) 再資源化について

本庁管内でのプラスチックごみの収集回数については月1回であるため、一般家庭での保管に苦慮している実態があることから、収集方法等の検討をすることともに、資源化としての有効な処理方法について調査研究されたい。

(7) 住宅用太陽光発電システム普及支援事業について

住民の環境に対する意識が高まって

いる中、この事業に対する要望も多く、補助を受けられないことが生じているため、この事業のなお一層の充実に取り組まれない。



決算調査特別委員会の審査風景

(8) 環境調査について

大気・水質・騒音などの調査は、市内の各所に調査地点を定め、環境調査を実施されているが、調査地点の選定に当たっては環境の変化に応じて柔軟な対応をされたい。

(9) 有害鳥獣駆除対策について

野生鳥獣からの被害対策に努力されているにもかかわらず、山間部における被害は年々広がっている状況にある。被害による住民への負担を軽減するた

めにも有効な手段を検討されたい。

(10) 公共下水道事業会計への繰出金について

公共下水道事業会計への繰出金は、今後も事業推進に伴い増加が見込まれることから、市政への負担軽減を図るために関係機関との協議に鋭意努力されたい。

(11) 学校生活サポーター配置事業について

この事業は、小中学校における学校生活でのきめ細やかな指導をするための有効な事業であることから、人員配置の増加など、さらなる事業の充実に努力されたい。

特別会計

競輪事業特別会計

(1) 実質収支額が1953万6198円の不足となり、赤字決算となったことから、今回、翌年度歳入の繰上充用が行われた。
場外車券発売等収益見込みを把握することは、難しいことと理解できず、今後は予算編成時に当たり十分な精査を行い、再びこのようなことが生じないよう取り組まれない。

(2) 競輪事業を取り巻く環境は、景気低迷等により厳しい状況が続いていることから、健全経営に向け、なお一層若年層等新規ファンの獲得や業務改善に取り組まれない。

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険法第44条には、保険医療機関等に一部負担金を支払うことが困難であると認められる被保険者に対し、減額・免除・徴収猶予の措置を取ることができると規定されていることから、対象者の負担軽減のため、この制度の趣旨について調査研究をされたい。

むすび

本決算につきましては市町合併後年間を通じた2年目の決算であり、平成18年度予算の執行に当たっては、国の三位一体改革により地方譲与税が増となったものの、国庫補助金・地方交付税の削減など厳しい財政状況のもと、歳出においては全般にわたり徹底した見直しが行われ、簡素・合理化に努められた結果、計画された諸事業が円滑に執行されたことは、評価するものであります。

今後は事業の推進に当たり、これまでの慣例・慣習にとらわれないことなく、事業の検証を行い、徹底した経費の削減と効果を見定めるとともに、効果をも高めるための諸施策を推進され、さらなる市民サービスの向上に取り組まれない。

また、合併のスケールメリットを生かした施策により市民にとって住みよいまちづくりに向け、なお一層の努力を望むものであります。



11月臨時会で決まったこと

認定したもの

▼平成18年度松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について

可決したもの

▼松阪市議会特別委員会の設置について

選任したもの

▼松阪市議会特別委員会の委員選任について

平成18年度 歳入歳出決算状況

一般会計

・収入額	55,751,802千円
・支出額	54,295,052千円
・差引残額	1,456,750千円

特別会計

○競輪事業会計

・収入額	13,912,464千円
・支出額	13,932,001千円
・差引残額	▲19,537千円

○国民健康保険事業会計

・収入額	15,571,474千円
・支出額	15,076,966千円
・差引残額	494,508千円

○老人保健事業会計

・収入額	13,673,368千円
・支出額	13,458,854千円
・差引残額	214,514千円

○介護保険事業会計

・収入額	10,391,544千円
・支出額	10,050,943千円
・差引残額	340,601千円

○簡易水道事業会計

・収入額	795,646千円
・支出額	791,429千円
・差引残額	4,217千円

○戸別合併処理浄化槽整備事業会計

・収入額	291,336千円
・支出額	283,177千円
・差引残額	8,159千円

○農業集落排水事業会計

・収入額	68,797千円
・支出額	68,777千円
・差引残額	20千円

○住宅新築資金等貸付事業会計

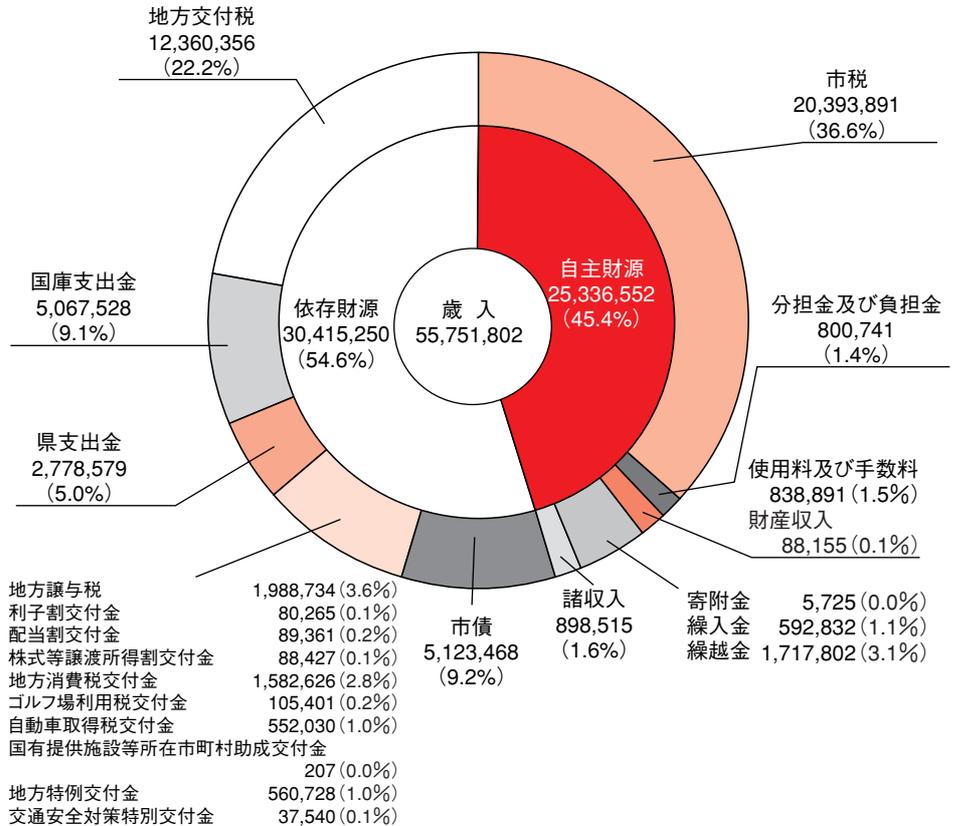
・収入額	177,209千円
・支出額	170,400千円
・差引残額	6,809千円

○ケーブルシステム事業会計

・収入額	206,798千円
・支出額	205,775千円
・差引残額	1,023千円

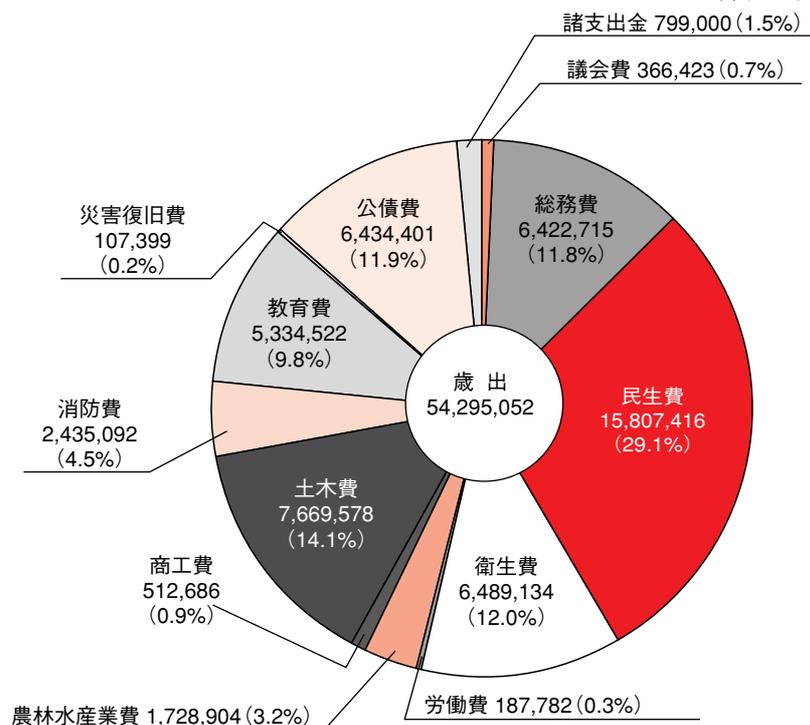
平成18年度 一般会計『歳入』決算状況

(単位：千円)



平成18年度 一般会計『歳出』決算状況

(単位：千円)



第35回三重県市議会議長会 海外行政視察団に参加して

林 乾 成 雄
博 博 己

このたび第35回三重県市議会議長会海外行政視察団の一員として昨年の10月16日から10月25日までの10日間の日程で、香港、オークランド、メルボルン、シドニーを訪れ視察、研修の機会を与えていただき、心から感謝いたしております。次の12カ所を視察研修いたしました。

- ① 楊成メモリアル長期滞在型高齢者施設視察（高齢者福祉及び医療施設）
- ② ターナーズ&グロウーズ社視察（農業流通施設）
- ③ マヌカウ市役所訪問（都市環境について）
- ④ ワイタケレ市廃棄ゴミ処理施設視察
- ⑤ CCSオークランド視察（障がい者福祉施設）
- ⑥ ワイタケレリゾショナルパーク視察（環境保護）
- ⑦ サニリージイチゴ農園視察（農業施策）
- ⑧ モーランド市高齢者向け食事サービス施設視察
- ⑨ セレス環境パーク視察
- ⑩ ボタニー小学校訪問（環境教育現場視察）
- ⑪ NSW州政府教育省訪問（環境教育について）
- ⑫ 自治体国際化協会訪問（国際化の推進、高齢者福祉及び医療施策）

ることができました。紙面の都合もありますので2カ所についてご報告いたします。

CCSオークランド視察

① 企業理念

身体障がい者と地域社会の共存。身体障がい者とともによい未来を目標とするために個人として独立をサポートし、家族とともに地域社会との共存を図る。地域社会の変化の中で他のニュージーランド国民と同様の機会を得る。78年前に設立された団体で、障がい者を支援する団体として、会員6万人のサポートと、障がい者の生活支援、利害を代弁、行政に働きかける活動。普通の生活ができるように、各個人のニーズを把握し、より効率のよいサービスを提供している。障がいのある部分をサポートしている。

② サポートは700人前後で常勤は500人

問題点があったら、プロジェクトをつくって解決に向っている。組織で活動している全国的な組織、ニュージーランド全国に16支局があり、中には法律の専門家もいる。役員は身障者本人が家族である。非営利団体で65%は政

府の補助金、35%は資金調達活動や寄付、投資などからきている。

セレス環境パーク視察

環境パークができてから25周年、スタッフは約150名でフルタイムで60〜70名が働いている。広さは約4haでピオトープ、菜園、果樹園、小動物もいる。民族的な小屋が建てられ、そこでは、民族太鼓のけいこをしている。このパークへの来場者は年間30万人、その内の約7万人が学生である。入場料1人15ドル、年間70万ドルの収入があり、小規模ビジネスである。教育面、他、地元雇用の場となっている。また、フェスティバルも開催される。有機栽培プロジェクトもあり、毎週土曜日に野菜が販売されている。地元市民に喜ばれ年間100万ドルの利益がある。この日も200人ぐらの学生が20〜30人のグループに分かれ、あちらこちらで教員より指導を受けていた。環境教育が徹底して行われているのを目の当たりにした。ここは非営利法人である。



セレス環境パークで研修を受ける学生達

2月定例会の開催日程(予定)

2月定例会は、2月25日(月)から3月26日(水)までの会期31日間の日程で開催の予定です。

2月25日(月) 本会議 当初予算上程・議案上程

29日(金) 本会議 代表質疑(当初予算)

3月3日(月) 本会議 代表質疑(当初予算)

4日(火) 本会議 代表質疑(当初予算)

議案に対する質疑・委員会付託

6日(木) 本会議 一般質問

7日(金) 本会議 一般質問(予備日)

10日(月) 委員会

12日(水) 委員会

17日(月) 本会議 議決・補正予算上程・委員会付託

21日(金) 委員会

24日(月) 委員会

26日(水) 本会議 議決

※本会議は市役所3階市議会講場で、委員会は2階市議会委員会室で開催いたします。

※時間は、いずれも午前10時から開催の予定です。

(ただし、21日・24日の委員会は午後から開催の予定です。)

※変更される場合もありますので、ご確認ください。

「代表質疑・一般質問」の議会放映(予定)

代表質疑と一般質問の様子は、ケーブルテレビ(「ウエーブまっさか」)の行政チャンネル(6ch)で、生中継を次のとおり予定しています。

【代表質疑】(生中継)

2月29日(金) 3月3日(月)・4日(火)

【一般質問】(生中継)

3月6日(木)・7日(金) 予備日

※録画放送の日程は行政チャンネル(6ch)でお知らせします。

日中友好促進三重県市議会議員連盟 第28次訪中使節団に参加して

川口保
大平勇

日中国交正常化35周年に当たる平成19年の10月21日から7日間、三重県市議会として中国を訪問、主に上海、許昌市、河南省、及び首都北京を視察した。人口は13億1448万人で日本の10倍以上、世界の人口の2割を擁し国土は960万km²で日本の26倍である。政治は社会主義、経済は市場経済という中で、今日の中国の地位を築き上げてきた。

1970年代末までは計画経済体制をとってきたが、改革で農村の集団経営を世帯単位の経営に移行し、企業集団の結成、株式制の導入、市場システムの育成など経済発展に対する施策が取り入れられてきた。

北京オリンピックを控え、中国は目覚ましい発展を遂げている。かつての日本と韓国が五輪を契機として急成長をしたように中国も同様、各地でホテル・マンションの建設ラッシュが続いている。また、このような状態の中で、幾つかのゆがみも出てきている。今回訪問した北京や地方の河南省でも一日中覆っている霧の問題。日本のような自然による霧ではなく、工場のばい煙や自動車の排気ガスなどが起因とする

ものと思われる。これらの環境問題とともに、都市と農村、富裕層と貧困層の格差問題も今後中国の最重要課題であると思う。

河南省は三重県と友好県省を結ぶ中国で最大の人口(約1億人)を擁する省である。許昌市での議会及び人民代表常任委員会との交流会の席上、王主任は、両国の平和の大切さを訴えられ、また、日本の高い科学技術や環境保護等を学びたいと強調された。

鄭州市の鄭東新区開発区は田園の真ん中に150万人が住む全く新しいマンション大都市をつくる計画で5年前から工事を開始、2015年に完成予定である。そのマンション都市は全体で145km²、外周には超高層マンションが建ち並び、その内側に幾つもの都市をつくりそれらを結ぶ高速道路など工事中であった。中国は国有地のためできる技で、日本では想像を超えた世界である。少林寺武術学校は、中国の一人っ子政策から子どもを甘やかす傾向にあり、小学校からしつけを身につけることを目的に最近では人気が高く周辺に80校、6万人が学んでいることには驚いた。年々希望者がふえ海外からの留学も多

く就職先もよいとのこと。日本でも少子化で薄れつつあるしつけ教育は、人格形成時である幼少期での必要性を感じた。

上海では1m²が250万円もするマンションも出現し、まさにバブル状態である。今年のオリンピックと2010年に予定されている上海万博が終わった後、中国経済がどうなるか注目される。日本と中国は隣国としての結びつきが深い、国交正常化からわずか35年、中国は未知の魅力と大きな可能性を秘めた大国である。今後中国がアジアと世界に与える影響が大きくなっていくことは確実である。わが国の隣国として今後も、友好な関係を続けていきたいものである。今回限られた日程であったが、中国の人達との交流の中で、一部であるが中国の姿を直接見ることができたのはありがたく、今回の訪中に当たり視察を受け入れていただいた中国の皆様方、ご支援ご指導いただいた方々にお礼申し上げます。



(まじゅう) 許昌市議会と市政府を訪問



編集後記



あけましておめでとうございます。本年最初の市議会だより第17号をお届けします。

本号では、主に昨年11月臨時会における決算調査特別委員会の審査内容を掲載いたしました。

市議会では、市議会だより、市議会ホームページでの会議録の検索、議会放映等市議会の活動が少しでも皆様方の身近なものとなりますよう議員一同日々活動しております。

市議会だより及び議会放映を見られてのご意見・ご感想を市議会だより編集委員会(松阪市議会事務局)までお寄せください。

お問い合わせ

松阪市議会事務局

電話 53-4433

FAX 23-3962

Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp

発行/松阪市議会

(〒515-8515 松阪市殿町1340番地1)

編集/市議会だより編集委員会